メモリが一杯のとき

静止画や動画の撮影後に登録しようとすると、「空き容量が少ないため登録できません」または「登録できません」と表示されることがあります。このときは、クリアまたは◎を押すと撮影後の状態に戻りますので、次の操作を行い他の画像を消去すると、撮影した静止画や動画を登録することができます。

1 （メニュー）を押したあと、「データ消去」を選び、Ⓕを押す。

2 消去する画像を選び、Ⓕを押す。

3 「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

画像が消去されます。

5 カメラ機能

便利なカメラ機能

セルフタイマーを利用する

写メールモード、壁紙モード、デジタルカメラモード、アクションスナップモードで利用可能

撮影前にタイマー設定しておくと、セルフタイマーで撮影することができます。

- タイマー設定はセルフタイマー動作後に、自動的に解除されます。
- 写メールモード、壁紙モードの場合、連写モードと組み合わせて利用することもできます。（１回目のシャッターとして働きます。）
  ただし、連写スピード設定（☞P.5-14）を「マニュアル」に設定している場合は、利用できません。
- V401SHの卓上ホルダーは市販のカメラ三脚台に対応しております。セルフタイマーでの撮影時にカメラ三脚台をご使用頂くと便利です。

セルフタイマーを設定する

1 モバイルカメラの各モード（☞P.5-8、P.5-17）で、（メニュー）を押す。

●撮影直後（登録前）は、操作できません。

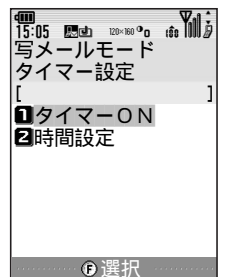
2 「タイマー設定」を選び、Ⓕを押す。

3 「❶タイマーON」を選び、Ⓕを押す。

●タイマーが設定され（「」点灯）、各モードに戻ります。

補足

セルフタイマーを解除するとき

●セルフタイマー設定中（「」点灯中）に、上記の操作を行います。ただし、操作３では「❶タイマーOFF」を選び、Ⓕを押します。（「」消灯中）

タイマーが動作するまでの時間を設定する

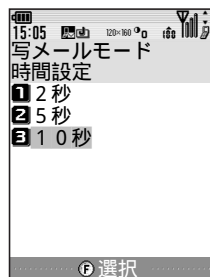
シャッター（Ⓕまたはサイドキー）を押したあと、タイマーが動作するまでの時間を、「2秒」、「5秒」、「10秒」のいずれかに設定することができます。

- お買い上げ時には「10秒」に設定されています。
- ここで設定した内容は、モバイルカメラを終了すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

1 モバイルカメラの各モード（☞P.5-8、P.5-17）で、(メニュー）を押す。

●撮影直後（登録前）は、操作できません。

2 「タイマー設定」を選び、Ⓕを押す。

3 「2時間設定」を選び、Ⓕを押す。

4 設定する時間を選び、Ⓕを押す。

タイマーの時間が設定され、タイマー設定の画面に戻ります。◎を2回押すと、元のモードに戻ります。

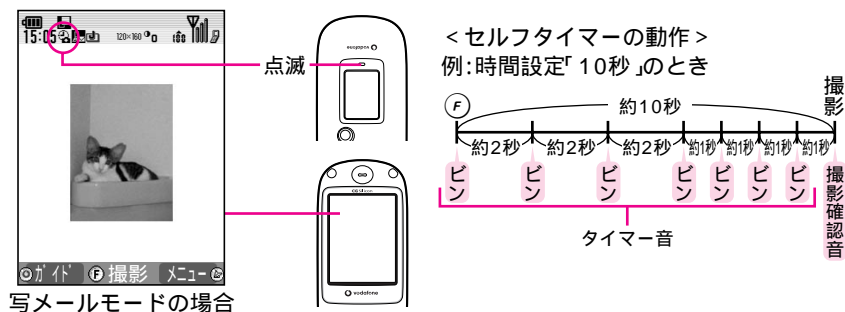
セルフタイマーで撮影する

セルフタイマー設定中（「」点灯中）にⒻ（撮影）を押すと、セルフタイマーが動作します。

- セルフタイマー動作中は、スモールライトが点滅し、タイマー音が鳴ったあと、設定しているタイマー時間後（お買い上げ時には約10秒後）に撮影（アクションスナップモードの場合は撮影開始）され、撮影確認音が鳴ります。（タイマーは解除されます。）

写メールモードの場合

<セルフタイマーの動作>
例：時間設定「10秒」のとき

Ⓕ 約10秒 撮影
約2秒 約2秒 約2秒 約1秒 約1秒 約1秒 約1秒
ピン ピン ピン ピン ピン ピン ピン 撮影確認音
タイマー音

セルフタイマーで撮影した静止画や動画を登録する際は、撮影後、以下の操作を行います。

モード	撮影後の操作
写メールモード、壁紙モード デジタルカメラモード	Ⓕ（登録）
アクションスナップモード	◎➡「1登録」を選択➡Ⓕ

- セルフタイマー動作中に撮影を中止するときは、◎（取消）またはクリアを押します。このとき、タイマーは設定されたままです。
- セルフタイマー動作中にⒻまたはサイドキーを押すと、その時点で撮影され、タイマーは解除されます。
- セルフタイマー動作中に着信やアラーム動作があったり、PWRを押したりすると、撮影は中止されます。このとき、タイマーは解除されます。
- セルフタイマー動作中は、次のことは行えません。
  明るさの調整、サブディスプレイへの表示切り替え、モバイルライトの点灯／モード変更

サブディスプレイを利用して撮影する

✱を押すと、サブディスプレイに画像が表示されます。（ディスプレイの画像は消えます。）
もう一度✱を押すと、サブディスプレイの画像は消え、ディスプレイに表示されます。

- ディスプレイに表示されていた画像とは左右逆に表示されます。
- サブディスプレイに表示される画像は、ディスプレイに表示される画像に比べて画質は劣ります。
- サブディスプレイに表示しているときに、画像の明るさの調整やモバイルライトの点灯、モバイルライトのモード切替ができます。

注意 ●サブディスプレイON／OFF（☞P.6-10）を「OFF」に設定しているときは、サブディスプレイの表示に切り替えることはできません。

メニュー操作でサブディスプレイに切り替えるとき

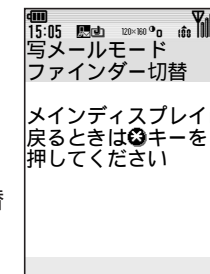
- ここでの設定にかかわらず、✱を押すとディスプレイとサブディスプレイを切り替えることができます。

1 モバイルカメラの各モード（☞P.5-8、P.5-17）で、(メニュー）を押す。

●撮影直後（登録前）は、操作できません。

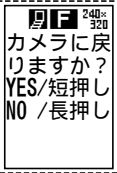
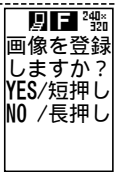
2 「ファインダー切替」を選び、Ⓕを押す。

右のような画面が表示され、サブディスプレイに切り替わります。

●サブディスプレイに表示している状態で、✱を押すと、ディスプレイに切り替わります。

V401SHを閉じて撮影する

V401SHを閉じるとサブディスプレイに画像が表示されます。このあと、サイドキーを押すと撮影することができます。
（サブディスプレイON／OFF（☞P.6-10）を「OFF」に設定しているときは、モバイルカメラは終了し、待受画面に戻ります。）

- サイドキー押す（撮影）➡画像表示（約2秒間）➡右上の画面表示➡サイドキー押す➡画像登録
  （メモリフル時：保存不可のメッセージ表示➡V401SHを開く➡画像の消去操作）
- 撮影をやり直すときは、右上の画面でサイドキーを長く押します。右下の画面が表示されますので、サイドキーを短く押します。

カメラに戻りますか？
YES/短押し
NO /長押し

モバイルライトを利用する

夜間および室内などでの撮影にモバイルライトが利用できます。
#を押すたびに、「ON（通常撮影用）」（「 」点灯）→「ON（オート撮影用）」（「 」点灯）→「ON（接写撮影用）」（「 」点灯）→「OFF」の順に切り替わります。
- アクションスナップモードでは、オート撮影用は利用できません。

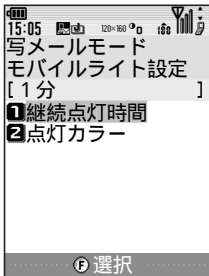
通常撮影用	設定するとモバイルライトが点灯します。撮影時には、さらに強い光で発光します。（動画の場合は同じ光量のままです。）
オート撮影用	周囲の明るさによって、モバイルライトが自動的に点灯します。撮影時には、さらに強い光で発光します。
接写撮影用	設定するとモバイルライトが点灯します。撮影時も、同じ光量のままです。

- モバイルライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してからご使用ください。

モバイルライトの点灯方法を設定する

モバイルライトの継続点灯時間や点灯カラーを設定することができます。
- お買い上げ時には、継続点灯時間は「1分」、点灯カラーは「ライチフルーツ（白色系統）」に設定されています。

1 モバイルカメラの各モード（☞P.5-8、P.5-17）で、（メニュー）を押す。
- 撮影直後（登録前）は、操作できません。

2 「モバイルライト設定」を選び、Ⓕを押す。

3 継続点灯時間を設定するとき

1 「1継続点灯時間」を選び、Ⓕを押す。
2 設定する点灯時間を選び、Ⓕを押す。
継続点灯時間が設定され、操作2の画面に戻ります。

点灯カラーを設定するとき

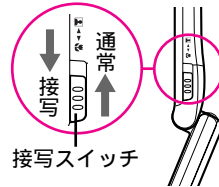
1 「2点灯カラー」を選び、Ⓕを押す。
2 設定するカラーを選ぶ。
現在選ばれているカラーのモバイルライトが点灯します。
3 Ⓕを押す。
点灯カラーが設定され、操作2の画面に戻ります。

- モバイルライトの継続点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減することができます。

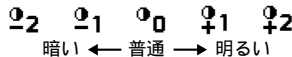
接写撮影をする

V401SHの側面の接写スイッチを図のように接写側にスライドさせます。接写モードになりますので、約10cmまで被写体に近づいて撮影することができます。

- 接写モードを終了するときは、通常側にスライドさせます。

- 目安として、接写モードのときは約10cm程度、通常モードのときは約40cm以上、被写体より離してください。

画像の明るさを調整する

を押し、調整します。（5段階）
- モバイルカメラを終了すると、「0」に戻ります。

-2 -1 0 +1 +2
暗い ← 普通 → 明るい

ズームを利用する

各モードの撮影画面でを押すとズームアップ（画像が拡大）、を押すとズームダウン（画像が縮小）します。また、7を押すと等倍に、9を押すと最大ズームになります。
- ズームの倍率は、モードによって異なります。P.5-7、P.5-17を参照してください。
- 次のモード（撮影サイズ）のときは、ズームは利用できません。
  ■デジタルカメラモードの撮影サイズ「768×1024」、「858×1144」

画像の表示サイズを設定する

写メールモード、アクションスナップモードで利用可能

- お買い上げ時には、写メールモードは「等倍」に、アクションスナップモードは「2倍」に設定されています。
- ここでの設定にかかわらず、【スケジュール/メモ】を押すと「等倍」→「2倍」→「全画面」（写メールモードのみ）→「等倍」…の順に切り替えることができます。

1 写メールモード（☞P.5-8）／アクションスナップモード（☞P.5-17）で、(メニュー)（メニュー）を押す。

●アクションスナップモードの場合、撮影直後（登録前）には操作できません。

2 「表示サイズ切替」を選び、(F)を押す。

3 「❶等倍」または「❷2倍」を選び、(F)を押す。

表示サイズが設定され、元のモードに戻ります。

静止画の撮影サイズを設定する

写メールモード、デジタルカメラモードで利用可能

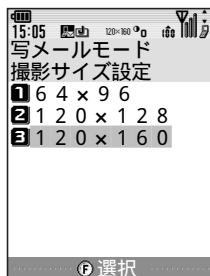
- 設定できるサイズについては、P.5-7を参照してください。
- お買い上げ時には、写メールモードは「120×160」、デジタルカメラモードは「480×640」に設定されています。
- ここでの設定にかかわらず、【わをん 0】を押すたびに撮影サイズを切り替えることができます。

1 写メールモードまたはデジタルカメラモード（☞P.5-8）で、(メニュー)（メニュー）を押す。

●撮影直後（登録前）は、操作できません。

2 「撮影サイズ設定」を選び、(F)を押す。

3 撮影サイズを選び、(F)を押す。

撮影サイズが設定され、元のモードに戻ります。（設定した内容に応じたマークが点灯します。）

シャッターを撮影シーンに合わせて設定する

写メールモード、壁紙モード、デジタルカメラモードで利用可能

撮影環境を、次のいずれかに設定することができます。

オート	周りの環境に応じて自動的に調整します。
夜景	夜景など光の少ない場所を撮影する場合に適した設定です。
スポーツ	スポーツなど動きの多い被写体を撮影する場合に適した設定です。
文字	白と黒などコントラストがはっきりとした被写体を撮影する場合に適した設定です。

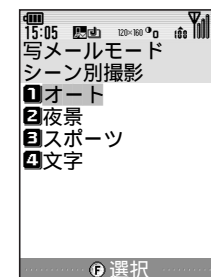
- お買い上げ時には、「オート」に設定されています。

1 写メールモードまたは壁紙モード、デジタルカメラモード（☞P.5-8）で、(メニュー)（メニュー）を押す。

●撮影直後（登録前）は、操作できません。

2 「シーン別撮影」を選び、(F)を押す。

3 「❶オート」、「❷夜景」、「❸スポーツ」、「❹文字」のいずれかを選び、(F)を押す。

撮影環境が設定され、元のモードに戻ります。

撮影時のシャッター音を設定する

写メールモード、壁紙モード、デジタルカメラモードで利用可能

撮影時に鳴るシャッター音を3種類の中から選ぶことができます。

- お買い上げ時には、「パターン1」に設定されています。
- シャッター音の音量を変更することはできません。

1 写メールモード／壁紙モード／デジタルカメラモード（☞P.5-8）で、(メニュー)（メニュー）を押す。

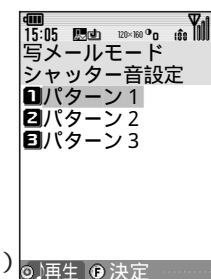
●撮影直後（登録前）は、操作できません。

2 「シャッター音設定」を選び、(F)を押す。

3 設定するシャッター音を選ぶ。

●シャッター音の再生：(◎)（再生）➡<停止>➡(◎)（停止）

4 (F)を押す。

シャッター音が設定され、元のモードに戻ります。

●写メールモード、壁紙モードの「連写モード」で撮影する場合は、この設定とは関係なく専用のシャッター音が鳴ります。

保存形式を設定する

写メールモードで利用可能

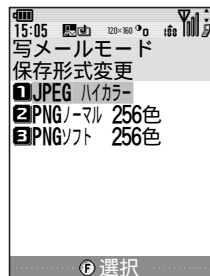
静止画の保存形式（色数）を設定しておくことができます。

- お買い上げ時には、「JPEG形式」（JPEGハイカラー）に設定されています。
- 連写モードのときは保存形式を設定することができません。「JPEG形式」に設定されます。

1 **写メールモード（☞P.5-8）で、（メニュー）を押す。**

2 **「保存形式変更」を選び、Ⓕを押す。**

3 **形式（色数）を選び、Ⓕを押す。**

保存形式が設定され、写メールモードに戻ります。

補足
- グラフィックライブラリに登録したあとで、保存形式を変換することもできます。（☞P.10-22）
- 「PNGソフト256色」に設定すると、誤差拡散処理を行い、「PNGノーマル256色」に比べて、なめらかな画像表示になります。

静止画や動画の画質を設定する

壁紙モード、デジタルカメラモード、アクションスナップモードで利用可能

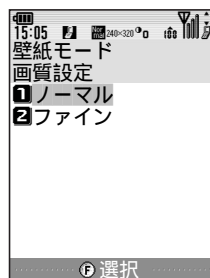
画質を「ノーマル」、「ファイン」のいずれかに設定することができます。

- 「ファイン」に設定すると、「ノーマル」に比べて画像はきれいになります。ただし、ファイル容量が大きくなるため、登録可能画像数や録画可能時間は減ります。
- お買い上げ時には、「ノーマル」に設定されています。

1 **壁紙モード／デジタルカメラモード／アクションスナップモード（☞P.5-8、P.5-17）で、（メニュー）を押す。**

2 **「画質設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「1ノーマル」または「2ファイン」を選び、Ⓕを押す。**

画質が設定され、元のモードに戻ります。（設定した内容に応じたマークが点灯します。）

静止画や動画の登録先を設定する

写メールモード、壁紙モード、デジタルカメラモード、アクションスナップモードで利用可能

静止画や動画の登録先を、「本体」（V401SH）または「メモリカード」（SDメモリカード）のいずれかに設定することができます。

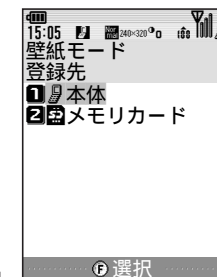
- お買い上げ時には、「本体」（V401SH）に設定されています。

1 **モバイルカメラの各モード（☞P.5-8、P.5-17）で、（メニュー）を押す。**

2 **「登録先」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「1本体」または「2メモリカード」を選び、Ⓕを押す。**

登録先が設定され、元のモードに戻ります。（設定した内容に応じたマークが点灯します。）

- 本体（V401SH）を選んだ場合、このあと登録するフォルダを選び、Ⓕを押します。

動画の音声録音を設定する

アクションスナップモードで利用可能

動画の撮影時に、音声も一緒に録音するかどうかを設定することができます。

- 「ON」に設定すると、「OFF」に比べてファイル容量が大きくなります。
- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

1 **アクションスナップモード（☞P.5-17）で、（メニュー）を押す。**

2 **「マイク設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「1ON」または「2OFF」を選び、Ⓕを押す。**

マイクが設定され、アクションスナップモードに戻ります。（設定した内容に応じたマークが点灯します。）

カメラ設定を初期化する

各モード共通の設定

モバイルカメラを終了したときに、各設定をリセットするかどうかを設定します。
- お買い上げ時には、「OFF」（リセットしない）に設定されています。

1 モバイルカメラの各モード（☞P.5-8、P.5-17）で、
(メニューキー)（メニュー）を押す。

2 「オートリセット設定」を選び、Ⓕを押す。

3 「1ON」または「2OFF」を選び、Ⓕを押す。
オートリセットが設定され、元のモードに戻ります。

接写スイッチ確認画面の表示を設定する

各モード共通の設定

モバイルカメラ起動時に、接写スイッチの確認画面を表示しないようにすることができます。

1 待受中に、Ⓕを押す。

2 「モバイルカメラ」を選び、Ⓕを押す。

3 「6接写切替確認表示」を選び、Ⓕを押す。

4 「2OFF」を選び、Ⓕを押す。

静止画のプリントを指定する（DPOF）

DPOF（「Digital Print Order Format」の略称）とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。V401SHのデジタルカメラモードで撮影したSDメモリカード内の静止画の中から、プリントしたい静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントを行うことができます。
- ボーダフォンライブ！などから入手した静止画はプリント指定できません。
- DPOFは、SDメモリカードのデジタルカメラフォルダに保存されている静止画に対してのみ設定できます。
- 操作中にSDメモリカードの容量が不足すると、「メモリカードの容量が足りないため指定できませんでした」と表示されます。このときは、一旦操作を終了し、不要なデータを削除してやり直してください。
- プリント時の操作など、詳しくは、プリントする機器の操作説明書をご覧ください。